



市民の皆様に愛される憩いの場所に

アピタ大垣店と、ショッピングモール「アクアウォーク大垣」は、大垣市のシティーセンター的存在になることを目指しています。JR大垣駅北口に、大きなクスノキのシンボルツリーと風力ソーラー発電機「そよ風くん」を正面に設置した、市民の皆様に愛される憩いの場となるべく2007年10月にオープンしました。

クスノキの周りに植えられた「レジ袋 市民の森」の木々は、環境活動に関わる市民の皆様がオープン前に植樹してくださったものです。

アクアウォーク大垣は「お客様にあてにされる品揃え」「頼りにされるサービス」を提供し、環境保全活動や地域貢献を果たしていきます。特に、モールとしては全ての年代層に愛されるよう、クリスマスやバレンタインデーなど社会慣習やお祭りなどの地域イベントへの参加を通じて、地域一番を目指し、また地域イベントには積極的に参加していきます。

アクアウォーク大垣は、ここに来店される次世代の子供達が大人になった日にもずっとここにあり、大きく育った「レジ袋 市民の森」を訪ねていただけるような、大垣市のランドマークにしていくことが私の努めです。



支配人
辻 英行

シンボルツリーとレジ袋 市民の森

「アクアウォークができる前からここにあったクスノキを切らないで……」と、オープン前から市民の皆様から要望がありました。また、大垣市の環境を考える市民と市でつくる大垣市民環境会議では、「レジ袋を辞退して得たポイント」で木を植える活動を通して、「アクアウォークにレジ袋 市民の森をつくりましょう」と植樹をしてくださいました。

家族と一緒に楽しめる、素敵な空間に

アクアウォーク大垣の魅力は、家族一緒に楽しんでいただけることです。30歳代の両親とそのお子様、おじいちゃんおばあちゃんの三世代揃って来店していただき、お買い物だけでなく、イベントなどでも楽しんでいただけるよう努めています。

お子様中心のイベントなど、特に何か作ったり、体験したりできる参加型イベントはとても人気があり、今後もこのようなイベントを開催していきたいです。

また、モールの専門店の中でもぜひお立ち寄りいただきたいのが、書店と旅行会社とカフェがコラボレートした「ブックツーリストカフェ」です。カフェスペースで本を読んだり、旅行のプランを立てたりすることはもちろんですが、書店のガイドブックと旅行会社のパンフレットを見比べることもできます。アクアウォークの人気スポットのひとつになっています。

アクアウォーク大垣では、いつも新しい発見や季節が感じられるモールにしていくために、ディスプレイやBGMにも力をいれています。ビッグイベントのクリスマスなどには、最大級のツリーの設置やイルミネーションなどで、来て見て楽しんでいただける素敵な空間を作っていきます。



モールマネジャー
高橋 鹿子

環境にも、人にもやさしい店づくり

アクアウォーク大垣は、どなたにもおいでいただき、楽しんでいただけるよう「バリアフリー」や環境に配慮した店づくりと、それが十分に生かされる運営を行っています。既存店では、「車椅子対応駐車場を一般の方が使用するために、必要な方が使えない」という問題がありましたが、この店ではフラップ方式を導入したことで解決しました。また、各出入口に設置している「介護の必要な方」のためのインターフォンも十分に活用され、担当の従業員がお買い物のお手伝いをしています。心臓発作時に必要なAEDも設置しただけでは役に立たないので、全社員が消防署のご協力で講習を受け、いつでも対応できるよう備えています。

このように、バリアフリーも設備のハード面だけでなく、これらを有効に使いこなすための教育、ソフト面での運用をしていくことが私の努めです。

環境保全では、店正面のレジ袋 市民の森と広場に、風力ソーラー発電外灯「そよ風くん」を設置し、リサイクルボックスで回収したトレイを再生利用したベンチを置いて、皆様に憩いの場としてご利用いただいています。

また、お客様と一緒に進める環境活動として「レジ袋有料化」を2008年3月より実施し、容器包装店頭回収とともに、家庭から出るゴミを削減するようにしています。店内から排出するゴミは、生ゴミを堆肥化して野菜を栽培するリサイクルシステムをはじめ、ダンボールやプラスチックなども、できるだけリサイクルするようにして廃棄する量を抑制しています。

地域貢献では、アクアウォーク大垣の自慢のひとつ「垣っ子クラブ」子供図書館があります。ここは従来の店が専門家を雇用して運営するのではなく、地元ボランティアの方たちと一緒に運営しています。ここには子供達だけではなく、ご両親やおじいちゃんおばあちゃんも一緒に本を選んだり読み聞かせたりご利用いただいています。今後は、ここでイベントやお母さん方の交流会など「子育て支援」の場としても活用していきます。



業務担当
グループマネジャー
武藤 吾郎

話題性のある、魅力あふれる場所を目指して

「水の都 大垣」にある135の専門店で構成されるアクアウォーク大垣は、地元のお客様に支持されるモールを目指しています。

そのために、モールを構成する専門店と協力し、たくさんのお客様に来店していただける魅力ある品揃え、心配りのあるおもてなし、楽しいイベントなど、全ての要素が整ったモールにしていきたいです。

特にイベントも社会性のあるもの、旬な話題性のあるものを開催し、（最近では、オリンピックゴールドメダリスト、イアン・ソープ選手やアルピニスト野口健さんの講演など）たくさんのお客様に参加していただきました。

また、アクアウォーク大垣が今後もずっと、お客様に喜んでいただけるサービスを提供していくために、アピタ・モール専門店の従業員の教育を継続していき、高いレベルでのマナーやサービス、モラルの向上にも努めていきます。



モールチーフマネジャー
遠藤 純生